

参考様式第2号(表)

整理番号 1

## 調査研究活動記録票

会派名 公明党

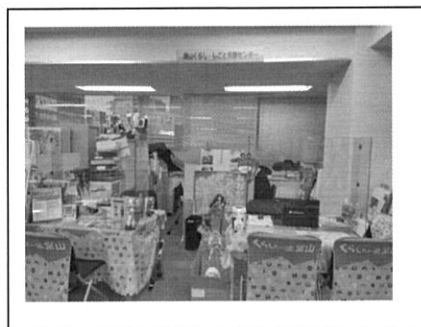
|                  |   |          |        |
|------------------|---|----------|--------|
| 活動名              | ① 観光庁への中央要望<br>② ふるさと回帰支援センター視察   | 使途<br>項目 | ・調査研究費 |
| 日程               | 令和4年11月30日(水)～令和4年12月1日(木)  |          |        |
| 場所等              | ① 観光庁 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎2号館<br>② ふるさと回帰支援センター 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館   |          |        |
| 参加議員<br>人数・氏名    | 1人  | 松倉 孝暁    |        |
| 目的・<br>内容・<br>成果 | <p>目的</p> <p>① 宇奈月温泉における『高付加価値化事業』に対する継続的な支援要望と黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放を観光庁長官へアピール</p> <p>② 近年、多様化する働き方や暮らし方等、地方移住のニーズは高まっており、富山県や黒部市に対する移住、定住の現状を把握することを目的とする。</p> |          |        |

## 内容

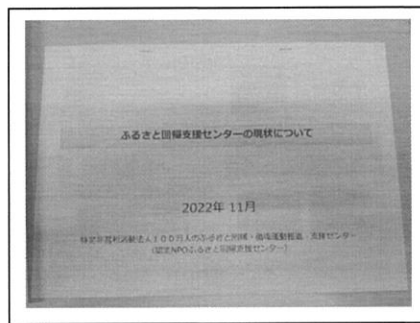
- ① 武隈黒部市長・四十万魚津副市長・中川衆議院議員・中瀬魚津市議長・松倉黒部市議5名で和田観光庁長官に宇奈月温泉における『高付加価値化事業』に対する継続的な支援要望と黒部宇奈月キャニオンルート的一般開放及び新川広域圏の観光産業全般をアピールする



- ② 地域で暮らしたい人と一緒に暮らす仲間を探す地域との橋渡し、地方暮らしに希望を持ち、新しい生き方を探す人たちを支援する NPO 法人で、近年の動向をお聞きした。富山県については、待機児童0、無料の広い公園、学力レベル等の子育て環境が良いとされ、年々相談数が増えて来ている。



富山くらし・しごと支援センター



当日配布資料

## 成果

- ① 全国で11か所を選定する『観光再始動事業』に黒部宇奈月キャニオンルートが採択された。今後の観光地として国との連携の中で補助金を活用した様々な施策が期待できる。
- ② 実際に現地で富山県、黒部市や他の市町村のPRブースを見て、富山県の担当者の話しを伺う事で、富山県や黒部市が移住定住先として比較的人気がある事が分かった。また、移住定住希望者は休日に問い合わせや現地を訪れたい方が多く、黒部市は希望者のニーズに合わせた対応を行っている事が分かった。

## 参考様式第2号(裏)

## 経費内訳

単位：円

| 整理番号 | 月日     | 支出内容  | 金額     |
|------|--------|-------|--------|
| 1-1  | 11月30日 | 宿泊費   | 13400円 |
| 1-2  | 11月30日 | タクシー代 | 800円   |
| 1-3  | 11月30日 | 昼食代   | 850円   |
| 1-4  | 1月4日   | 交通費   | 18330円 |
|      |        |       |        |
|      |        |       |        |
|      |        |       |        |
|      |        |       |        |
|      |        |       |        |
|      |        |       |        |
|      |        |       |        |
|      |        |       |        |
|      | 合計     |       | 33380円 |

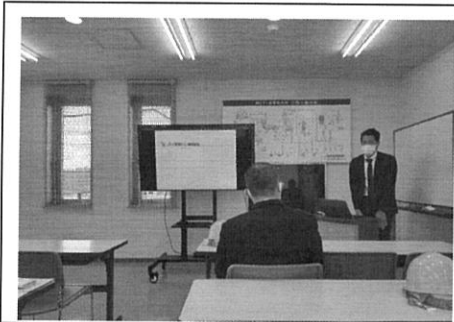


## 参考様式第2号(表)

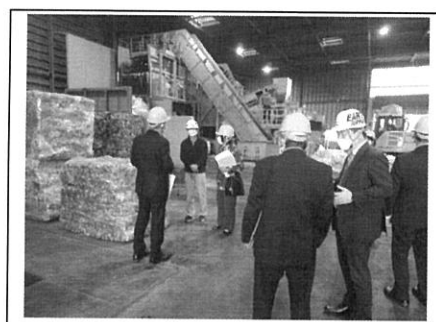
## 調査研究活動記録票

会派名 公明党

|                  |  |          |        |
|------------------|--|----------|--------|
| 活動名              | アースサポート株式会社<br>益田市、広島市豪雨土砂災害現場視察   | 使途<br>項目 | ・調査研究費 |
| 日程               | 令和5年2月7日(火)～令和5年2月9日(木)  |          |        |
| 場所等              | アースサポート株式会社 島根県松江市八幡町882番地2<br>益田市役所 社会教育課、健康増進課地域医療対策室、健康子育て推進監保健センター、<br>協働の人づくり推進課<br>広島市安佐南区 平成26年8月豪雨土砂災害現場   |          |        |
| 参加議員<br>人数・氏名    | 1人 松倉 孝暁   |          |        |
| 目的・<br>内容・<br>成果 | <p>目的</p> <p>アースサポート株式会社</p> <p>当黒部市にもグループ会社を持ち、新川広域圏内の一般廃棄物のリサイクル化や資源化を進めている。「新川リサイクル」はそのグループであり、当市においても取り入れるべき事業がある。先進のリサイクル技術を勉強し、環境に配慮できる黒部市を目指すために視察を行った。</p> <p>益田市</p> <p>昭和28年8月1日益田市を中心に隣接する7村を合併、さらに平成16年11月に美都町・匹見と編入合併し現在となる。面積は733.19km<sup>2</sup>で人口は46,000人であり、当市と比較的近い人口であり、オール益田で進める各施策について学び、黒部市のひとづくり、まちづくりに活かす事を目的とする。</p> <p>広島市豪雨土砂災害現場</p> <p>近年、ゲリラ豪雨等の災害が多くなっており、比較的災害の少ない富山県においても、けっして他人事ではなく防災に対する意識を高める必要がある。平成26年8月豪雨土砂災害現場を現地で視察することにより、災害の規模、復興状況を確認し、今後の災害対策の参考にすることを目的とする。</p> <p>内容</p> <p>アースサポート株式会社</p> <p>家庭より排出される一般ごみの減量化と、リサイクルについて積極的に取り組むと共に、地域小学生への出前教育を実施し、環境教育を率先して行っている。また、島根県については近年ゲリラ豪雨が発生し大規模浸水による、災害廃棄物が大量に発生し、いかに迅速かつ適正処理を行い復興に努めるかを学んだ。</p> |          |        |



職員による説明の様子



工場見学の様子

### 益田市

- ① 地域の魅力を高め、UI ターンを促す施策について
- ② 「ひとが育つ町益田」をめざし、オール益田で進める『ひとづくり協働構想』について
- ③ 健康増進事業の推進と地域医療を守る取組について、それぞれ学んだ

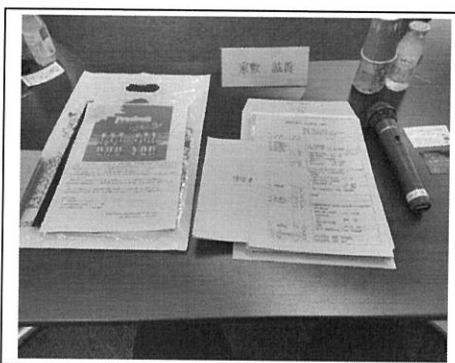
益田市では1対1の対話を通して「これまでの人生、今の自分、そしてこれからどんな人でありたいか」の授業を行う。キーワードは本音で話ができる時間・これからどんな自分でありたいかを「小学生のカタリ場」「中学生のカタリ場」「高校生のカタリ場」を通じ地域に根ざす人づくりを実践している。

2021年の活動として15の小学校、8中学校、4高校で実施し217人の大人と、763人の中高生、422人の小学生が参加し82%が大人と話してよかったとの回答を得たほか、59%の学生が益田市で暮らしたいとの回答を得たとのけっかを挙げている。

また、益田新・職場体験を実施し、日々生き生きと過ごす「増田のひと」の生き方や多様な価値観に触れ、自分自身の生き方を考えるプログラムとして、市役所×商工会議所×市内事業所とプロジェクトチームを作り、「対話」を通して地域に根づく人づくりを行う事により、以前より1割以上の生徒が地域に残りたいとの回答を出している。



益田市役所での説明の様子

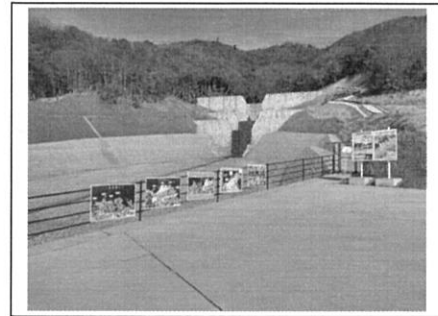
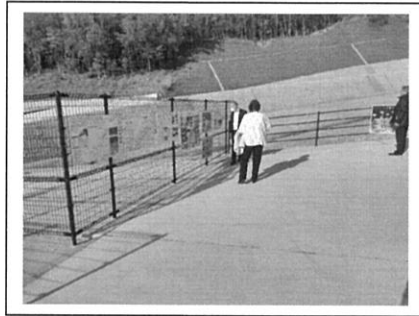


当日配布資料

#### 広島市豪雨土砂災害現場

2014年8月19日夜から20日明け方にかけて、広島市安佐南区八木・緑井・山本および安佐北区可部を中心としたごく狭い範囲に集中豪雨が発生した。「数百年に1回程度よりはるかに少ない確率」の記録的集中豪雨であった。線状降水帯が発生し、3時間降水量は200ミリを超え、同時多発的に大規模な土石流が発生。広島市災害対策本部のまとめでは、土砂災害166カ所（うち土石流107カ所、がけ崩れ59カ所）が発生した。

現在は大規模な砂防堰堤が整備されており、現地で見ると災害の規模、堰堤工事の規模や範囲の広さが良く分かった。



広島市豪雨土砂災害現場視察の様子

#### 成果

アースサポート株式会社

SDGs(持続可能な開発目標)の推進、また、プラスチックの資源循環促進法制度などマテリアルリサイクルが注目されている中、先進のリサイクル技術を勉強することが出来、環境に配慮できる黒部市を目指すための参考になった

#### 益田市

ひとが育つ町益田」をめざし、オール益田で進める『ひとづくり協働構想』等について学んだ、地域を創るのは地域に住むひとりひとりであり、大人も子どもも一緒に地域課題を自分事として捉える必要がある。

益田市の規模の市町村に高等学校が4校もあること、看護専門学校がありこれが地域医療を支えていること等教育環境の充実ぶりに参考となる点が多かった。

全体として教育にかなり熱心に取り組む様子を肌身で感じる事ができた。

#### 広島市

平成26年8月豪雨土砂災害の現場を視察し、改めて災害の範囲の広さや、規模の大きさを確認することが出来た。

実際に現地に住んでいる方とお話しをし、自宅は無事だったが、すぐ裏の斜面が崩れ、生々しいお話に災害を身近に感じる事ができた。

防災では、自助・共助・公助という言葉がよく用いられるが、改めて自然の脅威や、自分の身は自分で守る事の重要性、予期せぬ災害が頻繁に起こりうる可能性に対しての行政の対応について今後の黒部市における防災の参考になった。また黒部市においてはどのような災害を想定しておく必要があるのかを考えるきっかけにもなった。

## 参考様式第2号(裏)

経費内訳

単位：円

| 整理<br>番号 | 月日    | 支 出 内 容 | 金 額    |
|----------|-------|---------|--------|
| 6-1      | 1月31日 | 抗原検査キット | 1848円  |
| 6-2      | 2月8日  | 昼食代     | 700円   |
| 6-3      | 3月30日 | 交通費・宿泊費 | 61290円 |
|          |       |         |        |
|          |       |         |        |
|          |       |         |        |
|          |       |         |        |
|          |       |         |        |
|          |       |         |        |
|          |       |         |        |
|          |       |         |        |
|          | 合計    |         | 63838円 |